

令和6年度 利府 高等学校 「志教育」年間指導計画

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす			
各教科指導目標	国語	○	○		地理歴史	○	○	○	公民	○	○	○	数学	○	○	○	理科	○	○	○
	保健体育	○	○	○	芸術	○	○	○	外国語	○	○	○	家庭	○	○	○	情報	○	○	○
言語文化に対する理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、思考力や創造力を伸ばし、総合的な言語能力を養う。		国内及び世界各国の歴史・文化・風土への理解を深め、異なる文化を尊重し、国際社会に向かって貢献できるような資質を養う。自ら課題を見つけられる視点が持てるような社会学的考察を行う。		先哲の考えや複雑な現代社会の仕組みを理解することによって、自分の思考力を高める。同時に協働学習の機会を通じて他者を尊重し、主体的に社会に貢献しようとする公民的資質を授業内活動から養う。		数学的活動を通して様々な数学的手法や考え方を学び、日常生活における判断力や問題解決能力を養う。		科学的な自然観を総合的に体験しながら、自然と人間の密接なかかわりや日常生活の中の科学的な事象や現象を理解できる能力を育成する。												
心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成することを重視する観点から、運動や健康に関する課題を発見し、その解決を図る主体的・協働的な学習を通して、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を育成する。		芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てると共に、我が国及び諸外国の多様な芸術文化を尊重できる態度を育てる。		英語の学習を通して、言語や文化に対する関心や理解を深める。また、幅広い分野の情報や他者の意見などを理解し、それらに対する自分の意見や考えを積極的に伝えようとするコミュニケーション能力を養う。		社会と家庭とのかかわりについて理解を深め、生活に必要な基本的な知識や技術を習得させる。また、日常生活において工夫する能力と実践的な態度を育てる。		情報化が社会に及ぼす影響を理解させるとともに、情報技術を適切に活用する能力を養い、社会の情報化に対応できる態度を育てる。商業に関する知識と技術を習得させる。												
学年共通					かかわる	もどめる	はたす	各学年指導目標												
指導内容	①あいさつの励行	◎			1年	○ 基本的な生活習慣を確立することで、自己を律し、正しい社会性を身につける。 ○ 日常の学習活動を通して自学自習の習慣を身につけ、学力向上の基礎を確立する。 ○ 自己理解を深めることで進路に対する意識を高め、将来の目標を設定する。 ○ 部活動や委員会活動に積極的に取り組み、協調性や徳性の涵養を図る。														
	②清掃活動の徹底	○		◎		2年	○ 中堅の年次であることを意識した生活態度を定着させる。 ○ 家庭学習などの自学自習を習慣化させ、得意科目の伸長と不得意科目の克服を図る。 ○ 自己理解を深めさせ、卒業後の進路目標の明確化を目指す。													
	③清楚な身だしなみ			◎	3年		○ 最高年次としての自覚を高め、広い社会性と豊かな人間性を身につける。 ○ 自己の進路目標達成に向けて意欲的に取り組めるよう、学習環境の充実を図る。 ○ 部活動や委員会活動などの諸活動において、中心となって行動する意識の高揚を図る。 ○ 自分の能力・適性を的確に判断し、卒業後の進路を決定する。													
	④家庭学習の習慣化		◎			3年														
	⑤ベル着の徹底		○	◎	3年															
	⑥部活動・学校行事等の活発化	◎	○	○		3年														
指導内容					ねらい			指導教科等		実施時期	時数	かかわる	もどめる	はたす						
1年	総合的な探究の時間オリエンテーション					学習習慣・生活習慣を振り返り、高校3年間で身に付ける力を知り、高校生活の目標を立てる。			総合的な探究の時間	4月	1		◎							
	進路探究					学問について自ら調べ、理解を深めるために大学の大学見聞会に参加し、主体的な科目選択や進路選択を行う。			総合的な探究の時間	4～9月	10	◎	○	○						
	探究学習					探究学習を通してコミュニケーション能力を身につけ、自己課題発見・解決能力を磨く。			総合的な探究の時間	10～2月	11	◎	○	○						
2年	進路探究					さまざまな上級校や職業について知ることを通じて、進路達成に向けて具体的な目標と計画をもって取り組む姿勢を育む。			総合的な探究の時間	4～8月	5	○	◎	○						
	探究学習					各自が考えた課題への解決について、よりよく問題を解決する資質能力を育成するとともに、主体的・創造的に取り組む態度を育てる。			総合的な探究の時間	9～2月	13	○	◎	○						
	大学見聞会 一日総合大学(模擬講義体験学習)					自らの進路に応じて、実際に大学や専門学校等の講義を体験し、上級学校についての理解を深め、進路選択の契機とする。			総合的な探究の時間	7・10月	4	○	◎	○						
	小論文指導					自己の生き方や社会のあり方に対する理解や思考を深め、自ら論理的に表現する技能を養う。			総合的な探究の時間	12～2月	3	○	◎							
3年	進路別オリエンテーション					自己の進路に合わせた具体的な説明を受け、進路意識の高揚を図り、目標達成のための課題を明確にする。			総合的な探究の時間	4～12月	3	○	◎							
	進路探究					外部講師による講演等を通して、進路への考えを深め、その達成に向けて具体的な目標と計画を定める。			総合的な探究の時間	4～5月	14	○	◎							
	志望理由書指導					自らの進路目標を明確にししながら、自己の生き方や社会のあり方に対する理解や思考を深め、論理的に表現する技能を養う。			総合的な探究の時間	4～7月	4	◎	○	○						
										合計時数	68									